別紙

令和８年度

日本大学付属高等学校等第四十三回文芸コンクール

応募のための注意事項

日本大学付属高等学校等文芸コンクール運営委員会
日本大学学務部付属学校課

一　応募は、令和８年度実施要項による。
応募規定に反した者は、受賞後でもその資格を取り消す。

二　作品は、在校中に自分が創作したもので、未発表のものに限る。

三　用紙は、**すべて縦書きＢ４判四百字詰め**の原稿用紙を使用する（※各ジャンルとも、**広げた状態で**提出すること）。

四　ジャンルと作品数、枚数について
①　俳句は、一人三句を連記する。一校での応募数は、各々三十人以内。
②　短歌は、一人三首を連記する。一校での応募数は、各々三十人以内。
③　詩は、一人二編以内。一校での応募数は、二十編以内。
④　小説は、原稿用紙**二十枚程度（十八枚～二十二枚）**。一校での応募数は、五編以内。
⑤　読書感想文は、原稿用紙**三～五枚**。一校での応募数は、十編以内。
⑥　原稿用紙の枚数は、多すぎず、少なすぎない程度にすること。

五　作品は小説を除き、すべて自筆原稿であること。（用紙は縦書きＢ４判で、四百字詰めにすること）。

六　筆記用具は、**万年筆かボールペンを用い、色は黒**とする。

七　文字は、正しくていねいに、楷書体で書く。

八　原稿には、**ジャンル名・学校名・学年・氏名**（ふりがな）を明記する。

九　作者独自の造語など特殊な読み方を要する場合は、読みがなをふること。

十　各ジャンルの注意事項（別添資料「原稿用紙の書き方」を参照すること）

・**俳　句**（**一人三句を連記**）

① 校名は二行目に書くこと。
② 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
③ 句は五行目から書くこと。
④ 句ごとに改行し一句を一行に書くこと。
⑤ 各句の間に空白行をはさむこと。

・**短　歌**（**一人三首を連記**）

① 校名は二行目に書くこと。
② 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
③ 歌は五行目から書くこと。
④ 歌ごとに改行し一首を一行（書けなければ二行）に書くこと。
⑤ 各歌の間に空白行をはさむこと。

・**詩**（一人二編以内）

① ジャンル・校名は一行目に書くこと。
② 表題は二行目に、上を三字あけて書くこと。
③ 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
④ 本文を五行目から書くこと。
⑤ 二編応募する場合は、一編ごとに用紙を変え、二人分として応募すること。

・小　説（一人一作品）

① 原稿用紙**二十枚程度（十八枚～二十二枚）**とすること。
② **通し番号**をつけ、**広げた状態で、ホチキスで右上をとじる**こと。
③ ジャンル・校名を一行目に書くこと。
④ 表題は二行目に、上を三字あけて書くこと。
⑤ 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
⑥ 本文は五行目から書くこと。
⑦ 句読点、かぎかっこなどの記号は一字分として扱うこと。
ダッシュ（「――」）**や三点リーダー**（「……」）**は二字分**使用すること。

・読書感想文（一人一作品）

① 原稿用紙**三～五枚**とすること。
② **通し番号**をつけ、**広げた状態で、ホチキスで右上をとじる**こと。
③ ジャンル・校名を一行目に書くこと。
④ 表題は二行目に、上を三字あけて書くこと。
⑤ 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
⑥ 本文は五行目から書くこと。
⑦ 句読点、かぎかっこなどの記号は一字分として扱うこと。
ダッシュ（「――」）**や三点リーダー**（「……」）**は二字分**使用すること。
⑧ 書籍や映画などの作品名は『』（二重かぎ）でくくること。
⑨ 作品を引用する際は原稿用紙の欄外に**引用箇所のページ数**を書き添えること。
⑩ 引用文は「」で囲む。長い引用は全体を一字下げて本文と区別する。

担当の先生方へのお願い

一　原稿はすべて**Ｂ４判**に統一し、**広げた状態で、**二枚以上になる場合は**右上をホチキスで**とじて提出してください。

二　原稿に**ジャンル名・学校名・学年・氏名**（ふりがな）が記載してあるか確認してください。
（各ジャンルの注意事項を参照してください）

三　別添「エントリー番号記入について」を参考にして、原稿の**右上にエントリー番号を記入**してください。

四　【俳句・短歌・詩・読書感想文】については、**コピーを三部作り、**原稿とあわせて**計四部（Ｂ４判）を用意**してください。
【小説】については、**コピーを一部作り、**原稿とあわせて**計二部（Ｂ４判）を用意**してください。
※提出の際は、原稿・コピーをそれぞれ**エントリー番号順に並べた状態で提出**してください。
スムーズな選考のために**コピーの濃度は濃いめ**でお願いします。

五　応募作品には、「応募状況」・「応募者一覧表」を添え、一括して送付してください。

六　原稿に**誤字・脱字**などがないように**清書時に確認**してください。

七　**著作権の侵害**に注意してください。特に**盗作等についての確認**は必ず行ってください。
出版物等紙ベースで発表された作品だけでなく**インターネット上に公開されている作品**にも著作権は発生します。

八　小説のパソコン使用時の書式について
◎**Ｂ４判用紙横向き**を使用してください。
◎縦書き**原稿用紙書式**（縦二〇×横二〇）を使用してください。
◎フォントの種類は問いませんがポイント数は**十二ポイント**にしてください。

◎原稿用紙をＡ４サイズで出力してからＢ４判に拡大コピーする場合は、文字が大きくなり過ぎないように注意してください。

九　入賞作品を作品集に掲載する際、俳句・短歌・詩に関しては原則として原稿のまま掲載します。小説・読書感想文に関しては加筆・訂正することがあります。

十　「文芸コンクール作品集」は次のような表記上のルールに従って編集しています。原稿清書時に留意してください。

①　「　」内の、最後の句点（。）は表記しない。

○誤「ごめんな、透。ごめんな。」
○正「ごめんな、透。ごめんな」

②　「？」、「！」の後は一文字分あける。

○誤「えっ？おどろいた！」
○正「えっ？　おどろいた！」

③　会話文の後の、「～と言った」と表記するような場合は、一段下げないで書き始める。

○誤「そんなことないよ」
　と私はやさしく言った。
○正「そんなことないよ」
　と私はやさしく言った。

④　小説・読書感想文に関して、次の場合は表記をひらがなに改めることがあります。

○　接頭・接尾語　（〔例〕人達→人たち　子供→子ども）
○　助動詞　（〔例〕読んだ様だ→読んだようだ　読ま無い→読まない）

○　形式名詞　　（〔例〕読む事→読むこと　言った通り→言ったとおり）

○　補助動詞・補助形容詞　　（〔例〕読んで見る→読んでみる　夢では無い→夢ではない）

十一　読書感想文の中で引用する本文にも著作権があります。大幅な改変は著作権の侵害になります。転記ミスも改変とされる場合があります。引用箇所は正確に本文を写したものでなければなりません。作品集に掲載する際に確認作業を行っていますが、**正しく引用することの重要性**について生徒への注意を喚起してください。

十二　小説につきましては，原稿データ（パソコン入力したもの）を原稿用紙と併せて御提出いただくようお願いいたします。なお，紙の原稿と原稿データの記載内容に相違がある場合は，作品集は紙の原稿内容を優先し制作いたしますのでよろしくお願いいたします。

以　上